

会津・南会津の農地周辺のニホンジカ撮影頻度

福島県農業総合センター 企画経営部 企画技術科

1 部門名

その他—その他—その他

2 担当者名

萩原 瞳

3 要旨

農作物被害の増加や南会津以外への分布拡大が懸念されているニホンジカの状況を把握するため、出没情報があった集落に2019年4月から2020年5月までセンサーカメラを設置し調査した。会津では局所的ではあるものの、南会津と同程度の撮影頻度となる集落があった(図1)。また、会津の調査地域では雄、南会津の調査地域では雌が多く撮影されたほか、全ての調査地域で春と秋に撮影頻度が高まる傾向にあった。

(1) 分布拡大初期は雄が多く、密度が高まるにつれ雄1:雌1になると言われているが、本調査期間においては、南会津町は旧田島町、旧館岩町(A、B)の3集落全てで雌が6割以上となり、会津坂下町の1集落では雄が8割となった(図2)。

(2) 越冬地から移動する春と繁殖期で活動が活発になる秋に撮影頻度が高まり、両地方とも秋は10月~11月に、春は会津坂下町では3月中旬、南会津町では4月から撮影頻度が高まる傾向にあった(図3)。

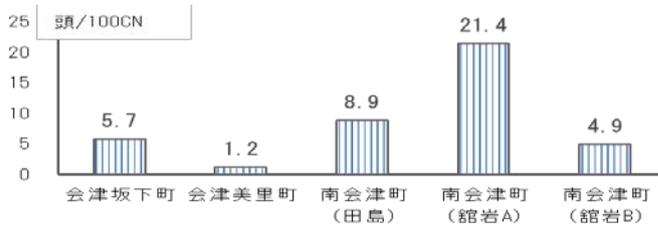


図1 各集落のニホンジカ撮影頻度※ (2019-2020)

※集落ごとに設置した全てのカメラ稼働日で算出

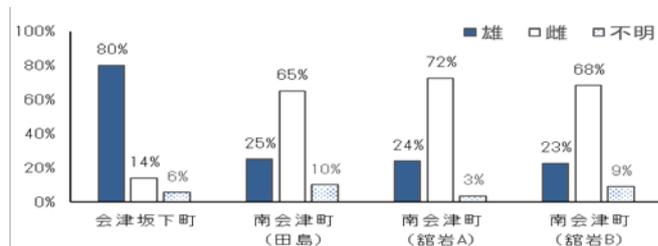


図2 センサーカメラで撮影されたニホンジカの性比

注1) 会津美里町は撮影個体数が少ないため除外した。
注2) 角の有無で雄と判別できるR1.6月~R2.2月の頭数を用いた。

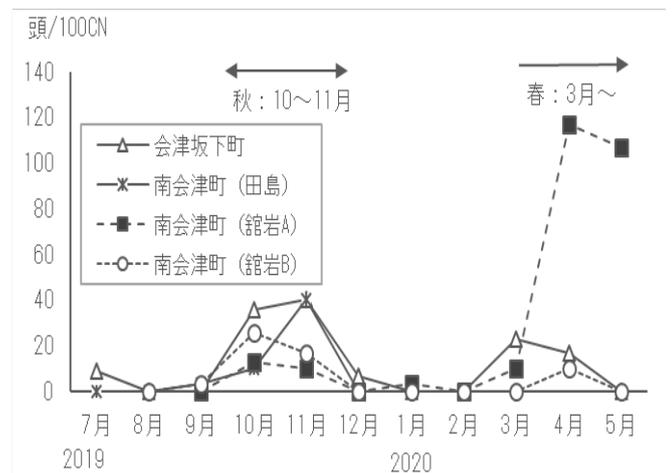


図3 ニホンジカの撮影頻度の月別変化

注1) 6ヶ月以上撮影出来た各集落を代表する1地点の撮影頻度

注2) 南会津町 (館岩A)は林内、他は農地前に設置されたカメラ

4 成果を得た課題名

(1) 研究期間 平成30年度~令和2年度

(2) 研究課題名 ニホンジカ被害拡大を阻止する技術確立事業

5 主な参考文献・資料 なし